

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

平成 30 年度事業報告書

I. 事業の概要

6 年制薬学教育が平成 18 年度に導入されて以来今日まで、薬剤師養成のための薬学教育が行われる一方、平成 25 年度に改訂された薬学教育モデル・コアカリキュラムに基づく新たな教育が平成 27 年度から進められる中、令和元年度から始まる薬学実務実習の円滑な実施に向けて、協会と各大学が連携して取り組んでいるところである。

この間、実務実習、薬学共用試験及び薬学教育第三者評価の実施等様々な課題について、日本私立薬科大学協会（以下「協会」という。）の理事会、総会及び各種委員会を中心に検討を行うと共に、全国薬科大学長・薬学部長会議、文部科学省及び厚生労働省等の調査等に対応したところである。

なお、平成 30 年 6 月 5 日開催の第 1 回通常総会において新役員等が決定し、新しい体制の下で、協会の充実・発展に取り組んだところである。

個々の事業内容については以下のとおりである。

1. 教育、研究に関する調査、検討

(1) 教育、研究体制等の整備について

6 年制薬学教育に関する諸問題について調査・検討を行うと共に、4 年制薬学教育の在り方等について、調査、検討を行った。

また、全国薬科大学長・薬学部長会議、薬学教育協議会、薬学共用試験センター及び薬学教育評価機構等との情報の共有を図った。

(2) 実務実習について

平成 30 年度は 9 回目となる実務実習の実施となった。本年度も実務実習に関する諸問題について検討を行った。

特に、令和元年度から始まる改訂モデル・コアカリキュラムに基づく実務実習の円滑な実施に向けて、当協会に求められた事項について、第 10 回「薬学実務実習に関する連絡会議」（平成 30 年 10 月 19 日開催）へ報告した。

このほか平成 29 年度実務実習実態調査を実施する共に、その結果を踏まえ、

薬学教育協議会で検討することとなった。

(3) 薬学共用試験について

平成30年度は10回目となる薬学共用試験の実施となった。

また、薬学共用試験(CBT、OSCE)の実施状況及び薬学共用試験の課題等について報告を受け、協会として検討し了承した。

このほか、改訂モデル・コアカリキュラムに基づく新たな実務実習が令和元年度から開始されるにあたり、薬学実務実習の教育には最低4年間の積み上げが必要であるとの観点から、改めて実務実習前教育に最低4年間の必須であることを再確認し、「臨床現場における薬学実務実習は4年次後期から実施する。」したがって、「薬学共用試験は4年次以降に実施する。」ことを協会として確認すると共に、全国薬科大学長・薬学部長会議においても最終確認することとなった。

(4) 薬学教育第三者評価について

薬学教育評価機構の活動状況及び第Ⅱ期第三者評価の初年度（令和2年度）受審校として、3大学が決定したこと等について報告を受けた。

(5) 実務家教員の研鑽の在り方等について

実務家教員の研鑽の在り方等については、新薬剤師養成問題懇談会で議論が行われる一方、実務家教員の質を担保する観点から、私立薬科大学全体の課題として捉える必要があるとして、「教育研究問題検討委員会」を中心に検討を行った。

(6) 薬剤師国家試験問題に関する検討について

第103回薬剤師国家試験（平成30年2月24日・25日実施）を受けて、協会の検討7部会（「物理・化学・生物」、「衛生」、「薬理」、「薬剤」、「病態・薬物治療」、「法規・制度・倫理」、「実務」）の検討結果を踏まえ、「薬剤師国家試験問題検討委員会」で調査検討を行い、報告書を協会会長名で厚生労働省へ提出した。（平成30年6月29日付）

また、厚生労働省医道審議会「薬剤師国家試験事後評価部会」において、協会の「薬剤師国家試験問題検討委員会」の中から2名の推薦を受け、同事後評価部会（平成30年8月17日開催）において、参考人として意見を述べた。

2. 協会の管理運営等

(1) 任期満了に伴う役員等の選任について

任期満了に伴う役員等（会長、副会長、常務理事、理事、監事、参与）の選任については、関係規程に基づく手続きにより、平成30年6月5日開催の平成30年度第1回通常総会において選任、承認された。

(2) 参与の選任について

参与について新たに1名を選任することとし、第51回理事会（平成30年11月6日開催）において承認された。

(3) 平成29年度事業報告・決算及び監査報告について

平成29年度事業報告・決算及び監査報告については、平成30年4月24日の監事監査を受け、平成30年6月5日開催の第1回通常総会において承認された。

(4) 平成31年度事業計画及び収支予算について

平成31年度事業計画及び収支予算については、平成30年11月27日開催の第2回通常総会において承認された。

(5) 会長及び副会長の職務執行状況の報告について

会長及び副会長の職務執行状況については、第47回理事会（平成30年6月5日開催）、及び第52回理事会（平成30年11月27日開催）において報告した。

(6) 教育賞の授与について

毎年度、薬学教育に多大な貢献をし、薬学教育の進歩発展に特に功績のあった者に対し、日本私立薬科大学協会教育賞を授与しているが、本年度は3名を選考し、平成30年11月27日開催の第2回通常総会終了後に、教育賞を授与した。

(7) 学生の入学定員及び入学者数の取扱いについて

今後の学生入学定員の遵守について協議した結果、昨年同様、「入学定員と入学者数が等しくなるよう、厳正な定員管理を徹底する」ことを申し合わせた。

また、入学者数が入学定員の1.1倍以上の大学については、入学定員超過の理由及び今後の対応等について協会宛に文書が提出された。

(8) 各種調査資料の作成について

例年通り、学生及び教職員数、学生納付金、入学志願者の動向、及び卒業生の就職状況等の実態調査を行い、協会及び各大学の参考資料とした。

(9) 会報（「日本私立薬科大学協会だより」）の刊行について

事業活動状況（諸会議議事録、各種調査結果等）、事業計画・報告、収支予算・決算及び大学紹介等の内容を掲載し、年2回各大学へ配布した。

(10) 広報活動について

6年制薬学教育への理解及び普及を図るため、昨年度に引き続き「6年制薬学ガイド2019」を刊行し、全国の高校へ配布すると共に、関係団体等にも配布した。

3. その他

- ・各種会議等の開催通知及び会議用資料の作成等を行った。
- ・法定帳簿等の整理及び確認を行った。

4. 関連事項

(講演会)

- ・平成30年6月5日（火）開催 ～ 藤田 道男先生による講演
（一般社団法人 次世代薬局研究会 2025 代表理事）
（テーマ） 「次世代に求められる薬剤師像」
- ・平成30年11月27日（火）開催 ～ 金子 元久先生による講演
（筑波大学 大学研究センター特命教授）
（テーマ） 「日本の大学教育及び薬学教育の課題について」

(文部科学省、厚生労働省関係会議)

- ・ 第10回「薬学実習に関する連絡会議」（平成30年10月19日開催）が文部科学省で開催され、平成30年度第1期の実務実習における各大学の先行導入の状況について、文部科学省が行った調査結果を基に、報告及び協議が行われた。

- ・ 第18回「新薬剤師養成問題懇談会」（新六者懇）（平成30年11月28日開催）が文部科学省で開催され、「薬学実務実習に関する連絡会議」及び6年制薬学教育の在り方等について協議が行われた。
- ・ 平成30年度「文部科学省薬学教育指導者のためのワークショップ」が、平成30年8月24日、慶應義塾大学薬学部芝共立キャンパスで開催された。

（その他）

- ・ 第3回「日本薬学教育学会大会」が、平成30年9月1・2日の両日、昭和大学旗の台キャンパスで開催された。
関連して同大会について、協会の後援名義を承認した。
- ・ 第4回「日本薬学教育学会大会」（令和元年8月24日・25日、大阪大学豊中キャンパスで開催）について、協会の後援名義を承認した。
- ・ 平成31年度「薬学実務実習広報用ポスター」（薬学教育協議会）について、協会の後援名義を承認した。

Ⅱ. 理事会・総会等開催状況

会 議 名	開 催 月 日		開 催 場 所
(理事会)			
第46回 理事会	30. 5. 15	(火)	アルカディア市ヶ谷
第47回 理事会	30. 6. 5	(火)	〃
第48回 理事会	30、6、5	(火)	〃
第49回 理事会	30. 7. 3	(火)	〃
第50回 理事会	30. 9. 25	(火)	〃
第51回 理事会	30.11. 6	(火)	〃
第52回 理事会	30.11.27	(火)	〃
第53回 理事会	31. 3. 5	(火)	〃
(総 会)			
平成30年度第1回 通常総会	30. 6. 5	(火)	アルカディア市ヶ谷
平成30年度第2回 通常総会	30.11.27	(火)	〃

Ⅲ. 各種委員会開催状況

委員会名	開催月日等		開催場所
部局長会議			
第37回 事務局長会議	30. 7. 13	(金)	アルカディア市ヶ谷
第38回 学生部長会議	30. 11. 30	〃	郡山ビューホテルアネックス
第38回 教務部長会議	30. 12. 7	〃	広島ガーデンパレス
薬剤師国家試験問題検討委員会			
物理・化学・生物部会	30. 5. 12	(土)	アルカディア市ヶ谷
衛生部会	〃	〃	キャッスルプラザ
薬理部会	〃	〃	北里大学薬学部
薬剤部会	〃	〃	熊本県民交流館パレア
病態・薬物治療部会	〃	〃	北海道医療大学サテライトキャンパス
法規・制度・倫理部会	〃	〃	大手門パルズ
実務部会	〃	〃	北海道科学大学前田キャンパス
第1回薬剤師国家試験問題検討委員会	30. 6. 8	(金)	アルカディア市ヶ谷
教育賞受賞者選考委員会			
第1回 受賞者選考委員会	30. 7. 3	(火)	アルカディア市ヶ谷
第2回 受賞者選考委員会	30. 11. 6	(火)	〃
広報誌編集委員会			
第1回 編集委員会	30. 9. 25	(火)	アルカディア市ヶ谷
第2回 編集委員会	30. 10. 24	(水)	薬科大学協会事務局
第3回 編集委員会	30. 12. 21	(金)	〃
第4回 編集委員会	31. 2. 15	(金)	〃
第5回 編集委員会	31. 3. 26	(火)	〃
教育研究問題検討委員会			
第1回拡大検討委員会	30. 10. 19	(金)	薬科大学協会事務局
第2回拡大検討委員会	31. 3. 5	(火)	アルカディア市ヶ谷

IV. 調査実施項目（調査対象：薬科大学・薬学部）

1. 平成 29 年度 卒後教育実施状況調
2. 平成 29 年度 卒業生進路調（平成 30 年 3 月卒業生）
3. 平成 29 年度 大学院修了者進路調（平成 30 年 3 月修了者）
4. 平成 29 年度 実務実習実態調査
5. 平成 30 年度 入学志願者動向調（志願者、合格者、入学者等）
6. 平成 30 年度 学部入学志願者数等調
7. 平成 30 年度 大学院入学志願者数等調
8. 平成 30 年度 入学定員及び入学者数調
9. 平成 30 年度 学生数調（学部学生・大学院生）（平成 30 年 5 月 1 日現在）
10. 平成 30 年度 専任教員及び職員数調（平成 30 年 5 月 1 日現在）
11. 平成 30 年度 在学生（3 年生）出身校都道府県別調（平成 30 年 6 月 1 日現在）
12. 平成 31 年度 学部学生納付金調
13. 平成 31 年度 大学院生納付金調